

<牧会ミニ通信>No.13 2020. 7. 19

新型悪性ウイルスの影響が地球規模で蔓延しています。

生物学者によれば、悪性ウイルスとの闘いはいつの時代でもあったといえます。ただ、以前より悪性の度が増し、発生頻度が多くなった根本の原因といえば、森林破壊による自然秩序の崩壊にあるといえます。

世界の森林面積のうち50%が消失し、残り20%が消失の危機にあり、原生林のまま残っているのはわずか15%といわれています。このまま森林破壊が続けば、熱帯雨林は消滅し、それが原因で最大28,000種の生物が絶滅すると推定されています。「実に、被造物全体が、今に至るまで、共にうめき共に産みの苦しみを続けている」(ロマ8:22)のが現状です。森林破壊は、生物の多様性が失われるだけでなく、温暖化という人々の暮らしと密接に結びついています。森林の自然火災もありますが、やはり、自然破壊が急速に進んでいる背後には経済を加速しなければならない理由があるのです。

神はすべてを創造して、「良し・トープとされた」のです。なかでも人間を特別に祝福して「神は自分のかたちに人を創造された」(創世記1:27)のです。ところが、「ひとりの人・アダムによって、罪がこの世にはいり、また罪によって死がはいつてきました」(ロマ5:14)とあります。それから、墮落後の人間は、欲望の「アクセル」を踏み続けていますが、欲望を抑制する「ブレーキ」を踏むことを忘れていました。ここに致命的な欠陥があります。

天にまでとどくバベルの塔を築こうとした「ニムロデ」の野心に、神はストップをかけられてから、全地の言葉が乱れはじめました。

いかにしたら、人間の欲望を制するすべがあるのでしょうか。

御言と御霊とにコントロールしていただいて歩むしか術がありません。そうすれば、肉の欲を際限なく満たすことはないのです。

周東のぞみキリスト教会：牧師 結城 晋次